

1. (仮称)うるま市総合アリーナ整備基本計画について

1.1 計画策定の背景と目的

うるま市（以下、「本市」という。）の具志川運動公園に位置する具志川総合体育館は、昭和 56 年に建設され、これまで市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として長い間親しまれてきました。

一方、整備から 40 年以上が経過し、施設の老朽化が進むとともに、耐震性能も十分でないことから、利用者の安全性・利便性を確保するため、再整備が必要な状況にあります。

再整備の際には、多様化・高度化しているスポーツ環境のニーズに対応するとともに、近年多発している災害等に備えて防災機能も有することが求められます。

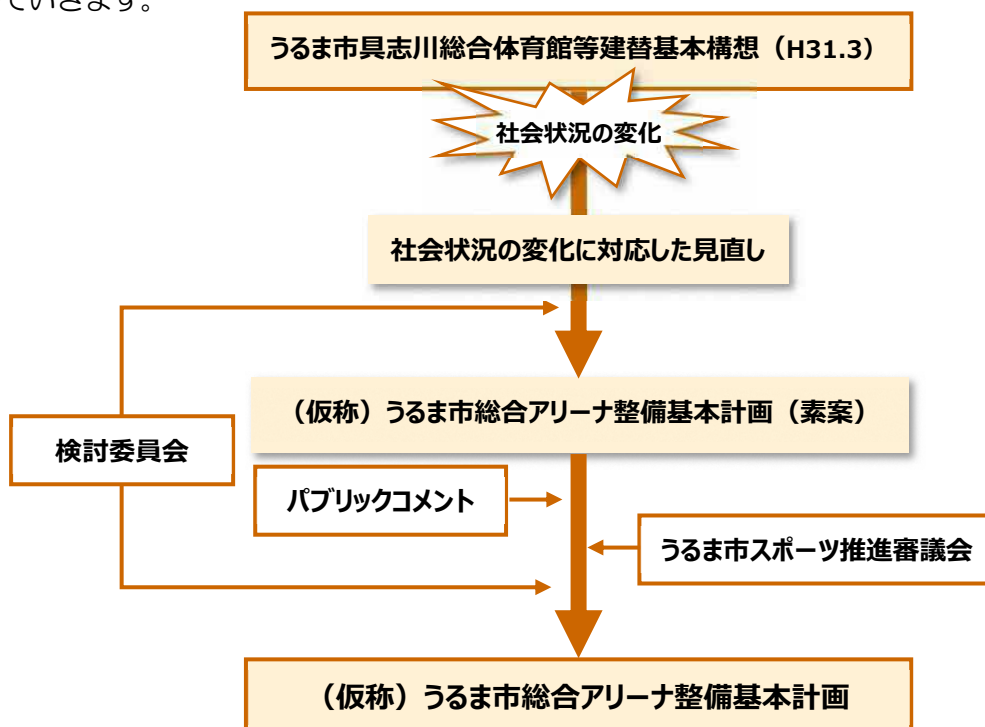
そこで、市民のスポーツ振興・健康増進に資するとともに、防災などの総合的な機能を備えたアリーナを整備することを目的として、「(仮称)うるま市総合アリーナ整備基本計画」(以下、「本計画」という。)を策定します。

また、(仮称)うるま市総合アリーナ(以下、「新アリーナ」という。)の整備と併せて、具志川運動公園全体の在り方を最適化する観点から、公園内における導線及び駐車場計画ならびに民間活用エリアのゾーニングを検討し、総合的に取りまとめることとします。

1.2 計画策定のながれ

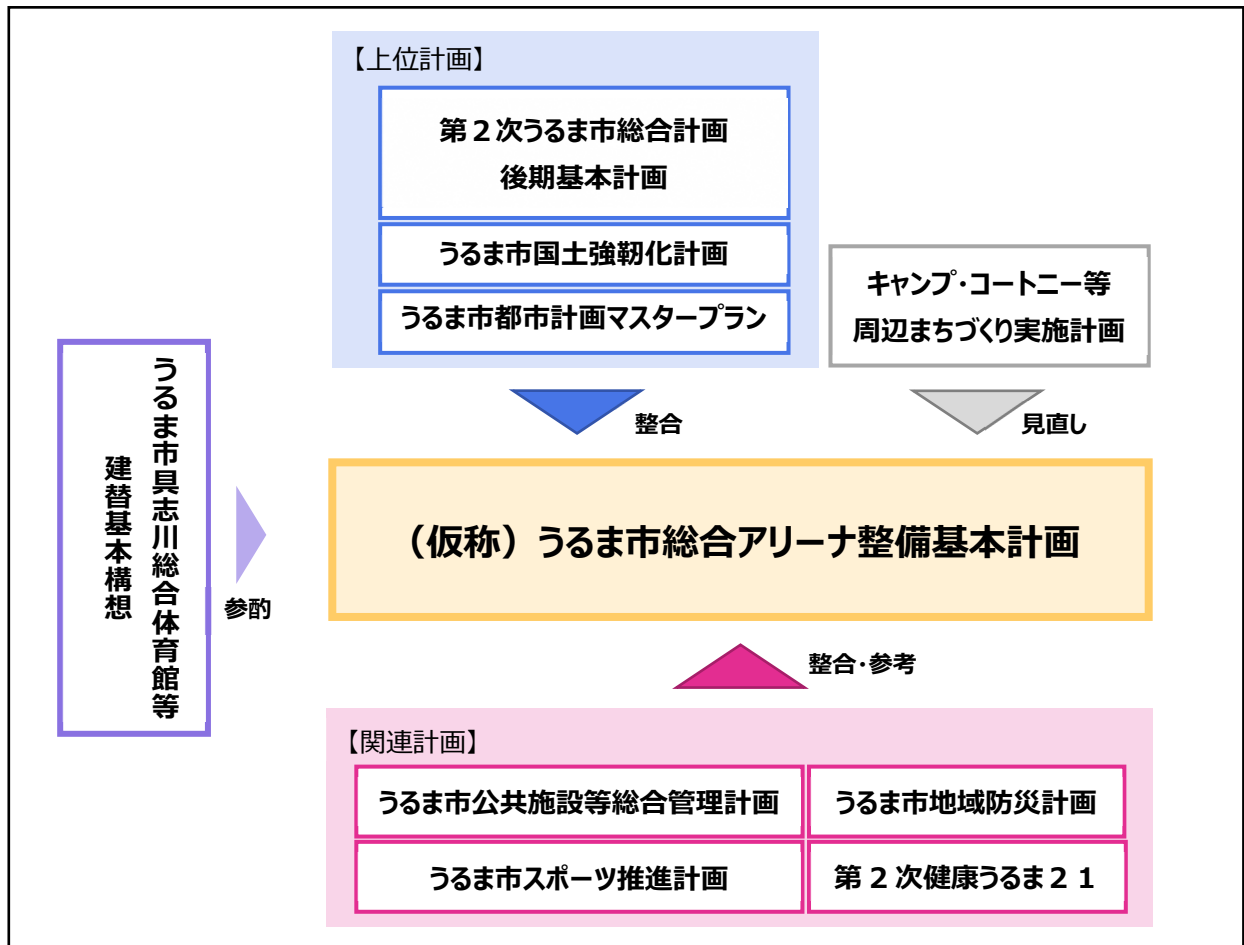
本計画の策定にあたっては、平成 31 年 3 月の「うるま市具志川総合体育館等建替基本構想」(以下、「基本構想」という。)策定以降に起こった、新型コロナウイルス感染症流行や自然災害をはじめとする、様々な社会状況の変化に対応する必要があることから、基本構想を参考としつつ、必要に応じて見直しを図ることとしました。

また、検討委員会を計 4 回開催し、関係部署との情報共有を図るとともに、うるま市スポーツ推進審議会への諮問や、パブリックコメントの実施により市民のみなさまの意見を伺い、本計画に反映していきます。



1.3 計画の位置づけ

本計画は、基本構想及び本市の上位関連計画等と整合を図りつつ、新アリーナの施設整備計画を示すものとして位置づけます。



<計画の位置づけ>